

リ  
マ  
ム  
チ  
ャ  
ツ  
ク  
の  
く  
ぼ  
み

## 登場人物

- ・ボロ (新入り)  
何でも知りたがり、疑問を持つ。
- ・ペグ爺 (バイオリン)  
気難しい爺さん。
- ・ピンボケ (カメラ)  
理系なイメージ。コンプレックスが強い。
- ・メツキ (ブリキ人形)  
気さくだが面倒くさがり。
- ・ラグ (懐中時計)  
時間を計り続けている。空気が読めない。
- ・ワンイアー (ヌイグルミ)  
口が悪い。片耳。案外面倒見がよい。
- ・オミト (日記帳)  
気が弱い。調べたり集めたりするのが好き。
- ・ベニサシ (婚約指輪)  
儂げな大人な雰囲気。メンヘラ。

## 本編

### 1. キャラクターと世界観

SE・M 暗転中。ユインロッカーを開ける音から布の擦れる音。そしてロッカーの閉まる音。しばらくMが流れ、FOして明転。ピンボケと寝そべったメツキが板付き。

メツキ なあ。ピンボケ。

ピンボケ 何？

メツキ 何か面白い話して。

ピンボケ 聞く相手、間違えてない？

メツキ 何で？

ピンボケ 大体一緒にいるんだから、僕が知ってる事はメツキも知ってるでしょ。

メツキ ああ…じゃあ何か面白そうな事しようぜ。

ピンボケ 何かって何？

メツキ 分かんねえ。

ピンボケ 毎回人任せだな…久しぶりにゴミ遊びでもする？

メツキ ゴミ遊びねえ。

ピンボケ 鉄くずボウリングとか。

メツキ あれはもう飽きた。

ピンボケ 粗大ゴミ相撲は？

メツキ ゴミ運ぶの重てえし。

ピンボケ 布きれ滑りは？

メツキ ブレーキないから危ないよなあ。

ピンボケ 長靴釣りはどう？

メツキ 今更だけど俺はアレの何が楽しいのか分からん。

ピンボケ もう自分で考えろよ。

メツキ 仕方ねえだろ。大体はやり尽くしてんだから。

ピンボケ 丸投げしといて文句言うのは仕方なくない。

メツキ ああもう暇だあ。

ピンボケ じゃあ博物館に行って何か珍しい物でも探してくれば？

メツキ 珍しいモン以上にガラクタだらけだろ。どうせペグ爺に邪魔されるし。

ピンボケ オミトはタイミングを見計らって探しに行ってたんだから。

メツキ でもあそこ遠いしよ。

ピンボケ 結局面倒臭いだけじゃん。

メツキ 骨折り損は誰だって嫌だろ。

ピンボケ やらない事には何も始まらない。

ピンボケ、今までしていた手入りを終え、写真を撮ろうとする。しかしシャッターが落ちない。

ピンボケ 嘘でしょ？

メツキ ついにシャッターも押せなくなっちゃったか。まあ元々撮る写真もぼやけてたし、大した事じゃ…。

ピンボケ、メツキを睨みつける。

メッキ その…ここにいる奴なんて何かしら壊れてる奴ばっかだろ？俺だってサビだらけだし。

ラグ 入って来る。

ラグ 午後の12時ですよ！午後の12時になりました！

メッキ おいラグ、声がデケエよ。

ラグ 失敬。メッキさん午後の12時です。

メッキ だから何？

ラグ 午後の12時といえば人間の世界では「食事」というものをする時間だそうですね。様々な異物を口の中に押し込み、

何とそれでエネルギー補給をしているのだとか…。

メッキ どうでもいいな。

ラグ 人間雑学はさて置き、何かをするには切りの良い時間だと思います。

メッキ 雑学じゃなくて時間そのものがだ。

ラグ 生活する上で行動の指針となる大切な物じゃないですか！

ピンボケ 誰もそんなの気にして行動してないと思うけど。

ラグ 時間を決めて行動すれば物事が円滑に進むというのに。

メッキ 有り余ってる物の配分なんて考える奴いんのか。

ラグ 時間が無限にあるとでも？

メッキ そもそもお前の時計、正確じゃねーだろ。

ラグ 何て酷い事を！

メッキ 事実だろ。

ラグ 少し、ほんのちよつぱり遅れているだけじゃないですか！

メッキ いやいや狂いまくっててもう何時か分かんねえよ。

ラグ 先程午後の二時だと申し上げましたが？

メッキ だから信用できねえんだよ。

ピンボケ 少しであろうと正確じゃなければ時計にとっては致命的でしょ。

ラグ ピンボケさんまでそんな事を言うのですか？

ピンボケ 事実だし。

ラグ 事実事実って…事実がそんなに大事なんですかねえ？

メッキ 大事だよ、だからもうどっかいけ。

ラグ そこまで言われたら引き下がれません！

メッキ そこまで言っていてねえし、俺らを見てみる。

ラグ ……と見ていましたか？

メッキ 面倒臭そうだろ？

ラグ まあ心無しかそう見えなくもないというか…。

メッキ 心無しじゃねえわ！

ラグ 前から思っていました、あなたは面倒臭がりが過ぎると思います。改善すべきです。  
メッキ ムカつきが止まんねえよ。

オミト入って来る。

オミト

助けてえー！

ワナイアー入って来る。

オミト 僕が何をしたって言うの！

ワナイアー あんたのナヨナヨした態度が気に入らないんだよ！

オミト そんなの理不尽だ！

ワナイアー その根性叩き直させろ。

ラグ ワナイアーさん、午後の二時から喧嘩なんてよくないですよ。

メッキ 二時は関係ねえ。

ワナイアー あたしの邪魔するつもり？

ラグ オミトさんも午後の二時から怯えてる事ですし…。

ワナイアー 二時関係ないだろ。

メッキ 別にほつといてやれよ。

ワナイアー コイツが視界に入った地点であたしの気分が悪くなる。ほつとけばあたしだけが損した事になるだろ。

ピンボケ 発想ヤバくない？

ワナイアー 少し教育してやるだけだって。

オミト 僕は…教育してほしいなんて…頼んでない。

ワナイアー 聞こえないねえ！

メッキ もう勘弁してやれ。

ワナイアー こっちは昨日も今日も明日もずっと勘弁し続けてんだよ。

ラグ 明日も？今はまだ午後の二時で…。

ワナイア (オミトに) こっちに来い!  
オミト やだっ!

逃げるオミトを追い掛け回すワナイア。しばらく騒いでいるとピンボケがこちらへ近づいてくる。ペグ爺をみつける。

ピンボケ みんな! おいみんな!

ワナイア 何だよ!

ピンボケ ペグ爺がこっちに来る!

メッキ はあ? (舞台袖を見て) マジだ…。

ワナイア :今はペグ爺なんて関係ない。

ラグ 意地を張っている場合ではありません。

ピンボケ 通り過ぎるまで静かにしてよう。

オミト こんな事なら大人しくしてればよかった。

ワナイア またナヨナヨと。

ラグ 一度過ぎた時間は戻っては来ないので。

オミト 最近は何探しに行けてなかったから…何でこういう時に限って…。

メッキ おい、馬鹿!

ペグ爺入って来て、オミトと鉢合わせる。

ペグ爺 どけ。



オミト すみません！

急いで道を譲るオミト。ペグ爺がはけるまでの間、静かに待つ一同。ペグ爺はける。

オミト もう最悪だあ…。

ラグ また博物館に行つてテルテル坊主集めですかね？

ワナイア 偏屈ジジイが。

ピンボケ ここを通るのが近道でも、ペグ爺なら僕達を避けそうなものだけど。

メツキ 俺ら如きに行動を変えられるのが気に喰わないんだろ。

ベニサシ入ってくる。

ベニサシ みんな！

メツキ よおベニサシ。

ベニサシ さつき川岸でペグ爺を見かけて急いで来たの。もしかしたらここを通るかもしれないわ。

ピンボケ もう終わった。

ベニサシ え？

ラグ 先程、通り過ぎていきました。

ベニサシ 大丈夫だった？

ワナイア 被害は一つだけ。(オミトを見る)

ベニサシ 何かされた？

オミト 凄く睨まれた。

ベニサシ それだけ？

ワナイア 急いで来たのにペグ爺の後から来るのはおかしくない？

ベニサシ 私は対岸にいて遠回りしてきたからだと思う。

メツキ 何で川を渡って先回りしなかったんだ？

ベニサシ だって体が濡れちゃうでしょ？

ラゲ 何か問題が？

ベニサシ 濡れるの嫌じゃない？

ピンボケ ないわあ。

ワナイア よく急いで来たなんて言えたね。

ベニサシ ちゃんと走ってきたのよ？

メツキ 滅茶苦茶ズレてるぞ。

ピンボケ ベニサシは僕達より自分が濡れない事の方が大事って事？

ベニサシ …ごめんなさい。

オミト でも伝えようとしてくれたんだからベニサシを責めるのは止めようよ。

ベニサシ いいのオミト。全部私が悪いの。

オミト そんな事ないって。

ベニサシ 川を渡った方が早く辿り着ける事に気付いてはいたの。

オミト そうなの？

ベニサシ でもできなかつた！その結果、皆を犠牲にした。

オミト 大げさだよ。

ベニサシ ああ神様…まだ美しくありたいと願った私に罰をお与えください。

ラグ 時間はポジティブに費やす方がよろしいかと。

ワナイア 実害あったのはオミトだけで、そのオミトがいいって言ってるしね。

ベニサシ 気遣いは無用よ。

メッキ いや早く終わらせてえだけだった。

ピンボケ 余計な事言うな。

SE 雨が降り始める音。

オミト 白い雨だあ！

メッキ 俺のテルテル坊主、もう使えなくなるぞ！

ラグ 早く雨宿りしないと！

ピンボケ スチール山のコンテナに行こう！あそこが一番近い！

ベニサシ以外、移動しようとする。

ベニサシ 私の願いに応えて下さったのですね？

ワナイア 馬鹿言ってるんでついてきな！

ワナイアはベニサシを引っ張って全員はける。雨音が本格的になり暗転。雨音F.O。

## 2. ボロの登場

明転。オミトがダンボール箱と板付き。ダンボールは布が被せてある。ベニサシ入ってくる。

オミト やつと来た。ずっと待ってたんだ。

ベニサシ ずっとって、前もって言うてくれれば良かったのに。どうしたの？

オミト ついさつき博物館で大発見があつてさ、ここが一番近かったから。

ベニサシ また行つてたの？

オミト だって物が集まるのは、あそこだけだし。

ベニサシ 程々にしないとまたペグ爺に怒鳴られるわよ。

オミト 気を付けてるから大丈夫。

ベニサシ そう言つて何度も捕まってるじゃない。

オミト 対策は打つてるつもりだよ。それよりもこれ見て！

オミト、ダンボールの布をとる。

ベニサシ ダンボール箱！？

オミト ついさつき見つけてきたんだ。

ベニサシ ペグ爺にはバレてない？

オミト 確認したけど誰もいなかった。

ベニサシ 早く皆を呼んでこないと。

ラグ入ってる。

ラグ 午前〇時ですよ！

オミトとベニサシ、驚く。

ベニサシ いい加減、普通に来てくれてもいいのよ？

ラグ いつも通りに来ましたよ？

オミト まあいいや、いい所に来てくれた。

ラグ え？ああ！今が何時が知りたかったんですね。

オミト 違う。実はこれを見つけたんだ。

ラグ ダンボール箱じゃないですか！

オミト この事を皆に知らせてきてくれない？

ラグ もちろんです。ペグ爺さんには…。

オミト バレてない。どのくらいで戻ってこれる？

ラグ それぞれいつもの場所にいれば時間はかからないと思います。

オミト じゃあお願い。

ラグ 承知しました。

ラダはける。

オミト ダンボール箱なんていつぶりだろう。

ベニサシ テルテル坊主が何個か入ってるとういいわね。

オミト 珍しい物も沢山入ってたらしいな。

ベニサシ オミトはそっちが重要か。

オミト メッキに全部持つてかれないようにしないと。

ベニサシ でも鞆の中が限界のように見えるんだけど大丈夫？

オミト あっ。

ベニサシ 大きな物が沢山あったら手だけじゃ持ち帰れないわよ。

オミト 荷物を置いてくるからベニサシは箱を見張ってて！

ベニサシ 誰も開けたりしないわよ。決まり事なんだし。

オミト そんなの分かんないじゃん。

ベニサシ はいはい。

オミト ちゃんと見ててね！

ベニサシ 分かったから。

オミトはける。一息つくベニサシ。箱が気になりだす。

ベニサシ 役に立つ物が入っててくれるかしら？

暫く箱を観察したり触れていると突然箱が動き驚くベニサシ。もう一度、箱に触れると再び箱が動く。

ベニサシ 誰か中にいるの？

沈黙。

ベニサシ もしかしてメッキ？いたずらならもう止めて。

沈黙。

ベニサシ 返事してよ！

中からボロが出てくる。

ボロ あなた誰？

ベニサシ あなたこそ誰？

ボロ 私は…私は誰？

ベニサシ 私が知る訳ないじゃない。

ボロ そっか…ここ何処？

ベニサシ いや待って。箱の中で何してたの？

ボロ 寝て…た？

ベニサシ 私が聞いているの！

ボロ よく分かんない。

ベニサシ 自分で入ったんでしょ？

ボロ ー違うと思う。

ベニサシ 思うって何？

ボロ 本当に分らないの。

ベニサシ 中身はどうしたの？

ボロ 中身？（箱の中を見てから）何も入ってない。

ベニサシ あなたが何処かにやったんじゃないの？

ボロ 知らない。

ベニサシ 信じられないわ。中の物は独占していい物じゃないのよ。

ボロ 私何処にもやってない。

ベニサシ 口だけなら何とでも言える。

ボロ 本当だよ。

ベニサシ なら納得できるようにちゃんと説明して。

ボロ 説明…。

ベニサシ やっぱりできないのね。

ボロ いきなりは無理。

ベニサシ できない理由があるんでしょ？

ボロ そうじゃない。

ベニサシ もしかして何か企んでたの？

ボロ 違う！（ベニサシに近づこうとする）



ベニサシ 来ないで！

ベニサシ、ハケようとする。

ボロ 行かないで！

ベニサシ、何故か立ち止まる。

ボロ 本当に何も知らないの。

ベニサシ ……。

ボロ どうしたの？

ベニサシ あなたと会うのは初めてよね？

ボロ 初めてだと思っ。

ベニサシ ……そうよね。

ボロ 何でそんな事聞くの？

ベニサシ いえ…とにかく今のあなたは怪しすぎる。

ボロ お願いだから信じて。

ベニサシ 信用しろって方が無理な話でしょ。

ボロ だって本当なんだもん…あっ！

ベニサシ 何？

ボロ 私が中身を何処かにやったのなら、その中に隠れるなんて変だと思っ。

ベニサシ 確かに逃げ出そうともしなかったけど…。

ボロ どう？

ベニサシ さっきも言ったけど、何か企んでいたなら変ではないでしょ？

ボロ そっか。

ベニサシ そっかって…。

ボロ 何で箱の中にいたのか本当に覚えてないの…悪い事したなら謝るから。

ベニサシ (溜息) いつから此処に？

ボロ 信じてくれるの？

ベニサシ 少しだけ。いつ此処に来たの？

ボロ 目が覚めたら此処にいた。

ベニサシ 今さっきの事を言ってる？

ボロ うん。

ベニサシ それって…。

ボロ あなたは誰？

ベニサシ え？あ…私はベニサシ。

ボロ ねえベニサシ、此処は何処？

ベニサシ もしかして今この世界に来たばかりなの？

ボロ たぶん。

ベニサシ だとしたら今までの反応の辻褄が合う。でも今まで仲間が箱に入って来る事なんて無かった…。

ボロ この世界ってどういう事？

ベニサシ えっと…此処は人間達のいる世界とは違うの。此処は人間達に捨てられた物達が集まる世界。みんなは「リマムチ

ボロ ヤツクのくぼみ」って呼んでる。自我を持ってやって来る物はとても少なく、あなたはその1つ。そうなんだ。

ベニサシ 驚かないのね。私も他の子も暫くは混乱してたのに。

ボロ よく分かんなかったから。

ベニサシ 分かつ：いや、それにしてもだけど。

ボロ ベニサシ以外にも誰かいるの？

ベニサシ ええ。私以外に6つ。

ボロ ベニサシも昔は捨てられた何かだったの？

ベニサシ 私は元々、婚約指輪だったのよ。

ボロ 指輪。

ベニサシ 婚約指輪ね。

ボロ こんやく指輪。

ベニサシ あなたはどんな物が意志を持ったのかしら？

ボロ 分かんない。

ベニサシ それも覚えてないの？

ボロ うん。

ベニサシ 本当に？皆はちゃんと覚えてたわ。

ボロ 本当に覚えてない。

ベニサシ 記憶喪失？それって私達にもあり得る事なの？

メッキ入ってくる。

メッキ お前ら何先に開けてんだよ！

ベニサシとオミトがいると思っていたメッキ。メッキの声に反応してベニサシが体をどけた拍子にボロと目が合う。

メッキ そいつ誰だ？

ベニサシ その…まだよく分かってない。

メッキ まだって何？

ベニサシ 私も会ったばかりなのよ。

メッキ じゃあ何で箱が空いてんのかぐらいは説明できるよな？

ベニサシ 何をどう話せばいいのか…。

メッキ そいつが勝手に開けたのか？

ベニサシ 当たってるような、当たってないような…。

ピンボケ、ワンイアー、ラグ入ってくる。

ピンボケ あの…何？これ。

ラグ 一体どういう状況なのでしょう？

オミト入ってくる。

ワンイアー 何処行ってたんだよ？

オミト　ちよつと野暮用……つてか誰？

メツキ　ベニサシに今から説明して貰う所だ。

ベニサシ　端的に言う……ダンボール箱からこの子が出てきたの。

ラグ　何が出てきたと仰いました？

ベニサシ　訳が分かんないのは私も同じよ。でも本当なの。

ピンボケ　……入ってたのはその子だけ？

ベニサシ　そうよ。

ボロ　この人達がベニサシが言ってた人達？

ベニサシ　人じゃないけどね。

ワナイア　あんた、箱の中身を何処にやった？

ボロ　最初から何も無かったよ。

ワナイア　嘘つけ！

ベニサシ　待って。少し話したんだけど、その子は何もしてない様な気がするの。

メツキ　気がするって何だよ？

ベニサシ　ほらっ、中の物を盗ったのならその箱の中にいるのは不自然でしょ？

ラグ　ここでのルールを知らなければ不自然ではありません。

オミト　いや箱に入ってるのは不自然でしょ。それに知らないなら何も無かったなんて嘘つかないよね。

ピンボケ　いや、咄嗟に独り占めしようと思っただのかもしれないし、別に目的があったのかもしれない。

ベニサシ　此処に来たばかりで記憶も無いらしいの。そんな状況で何かしてやろうとか考える？

ワナイア　そいつの言う事を信じる理由は？

ベニサシ　別にこの子が言った訳じゃない。

ワナイア　じゃあ何情報なんだよ？

ベニサシ　それは…私の推測だけ。

ワナイア　なるほど、ベニサシ様の御推測とあらば信用できるねえ。

メツキ　ベニサシも会ったばかりなんだろ？何でそんなに庇うんだ？

ベニサシ　自分でも分からないわ！

メツキ　逆ギレかよ。

ボロ　喧嘩は良くない。

ワナイア　あんたが原因なんだよ。早く中身を何処にやったか言いな！

ボロ　私、何処にもやってない。

ラグ　正直に言えば、これ以上あなたを責めたりしませんから。

ボロ　本当なのに…。

オミト　あのっ…念の為確認するけど、この子に会うのは皆初めてなんだよね？

皆、肯定。

オミト　ずっと前から此処にいたとして、こんな限られた場所で誰も会った事が無いなんて変じゃない？

メツキ　可能性はゼロじゃねえだろ。ずっと隠れてたのかもしれないし。

オミト　初めてここに来た時は皆混乱したと思うんだ。誰かを見つけて思わず隠れる事はあっても、そのままずっと隠れてる方が不自然だと思う。警戒しながらも助けを求めたり、情報を聞こうとするんじゃないかな？

ラグ　確かに。

オミト　僕の場合は心細くて他に誰かいないか探して回ったから。

ピンボケ この世界の事を説明する物がいなければ、ダンボール箱の重要性も知らないはずだな。

ベニサシ 重要性を知らなければ独り占めしようだなんて思わないわよね。

ワナイア でもそこらに転がってるガラクタとは明らかに違うんだ。自分の物にしようと思ってもおかしくない。

オミト 右も左も分からない状態でそんな余裕あるのかって話はベニサシもしたけど、改めてどう思う？

ラグ 私も余裕などありませんでした。

オミト たぶん本当に此処に来たばかりなんだと思うよ。僕はベニサシを信じる。

ベニサシ ありがとう。

オミト 元々空だった箱に何かの理由で入っちゃったんだよ、きつと。

ボロ でも私、そんなに混乱してない。少し怖かったのはあるけど。

間。

メツキ やっぱりな！

オミト ええ…。

ピンボケ 今ので少し信じる気になった。

メツキ そうなの？

ピンボケ わざわざ自分が不利なる様な事言わないと思うし。

メツキ でもよ…。

ラグ 何というか…純粹な方というのが伝わってきました。

ワナイア これで芝居打ってるんだったらまあ凄いわ。

ピンボケ 完全に信じた訳じゃない。何で箱に入ってたのかは謎のままだしね。

ベニサシ それなんだけど、この子が此処に来て目を覚ましたのがついさっきなのよ。  
オミト じゃあ箱の中で目を覚ましたの？

ベニサシ ええ。

ピンボケ まさか送られて来たのは、この子自身かもしれないって事？

ボロ 送られてって誰に？

メツキ 実際に送られてんのかは知らねえよ。ダンボールって事で勝手にそう解釈してるだけだ。

ワナイア 過去にもこんな事あった？

ピンボケ いや無い。一番古株のペグ爺なら何か知ってるかも。

沈黙。

ワナイア 今話しても意味なさそうだし、考えるのも疲れた。

ボロ ねえ皆の名前は？

オミト そういえばまだだった。

ピンボケ じゃあとりあえず、みんな自己紹介しとこうか。

ラグ そうしましょう！

ワナイア 何でテンション上がってるの？

ラグ では私から：私はラグと申します。現役の懐中時計です。時間に関する事は、何でも私にお申し付けください！  
オミト 僕は日記帳のオミト。よろしくね。

ピンボケ 僕はピンボケ。元はフィルム式のカメラ。

ワナイア あたしはワナイア。ウサギのヌイグルミ。



ベニサシ 私はもう済んでるから。

メツキ ああ、俺はメツキ。ブリキの人形だ。

ベニサシ この子にも名前を付けてあげましょう。

ピンボケ この世界の説明は？

ベニサシ 一応は済ませてある。

オミト 君は人間の世界で何だったの？

ボロ 覚えてない。

メツキ それすら覚えてねえのか？

ベニサシ 記憶が無いって言ったじゃない。

ピンボケ 今までに無い事が連続してる。

オミト 送られて来た事が事実なら、それが何か影響してるのかな？

ピンボケ 可能性はあるね。

ワナイア テンポ崩したくないんだけど。

ピンボケ ああ名前か…元が何か分からないし難しいな。

ベニサシ ワナイアと同じように外見で決めるのはどう？

メツキ なら見た目ボロいしボロでいいんじゃない。

ベニサシ また適当な…。

ボロ ボロ…ボロ！

メツキ 何だ？

ボロ ベニサシ！

ベニサシ どうしたの？

ボロ あなたはメッキ！

メッキ おつ、おう。

ボロ あなたはピンボケ！

ピンボケ うん。

ボロ あなたはオミト！

オミト どうも。

ボロ あなたはラグ！

ラグ はい。

ボロ あなたはワナイアー！

ワナイア 何？

ボロ 私の名前は？

ベニサシ ボロ？

ボロ ボロー！

ピンボケ …じゃあ何かまあボロに決定で。

ラグ 記憶がないのであれば今回は人間の世界の話は聞けそうにありませんな。

オミト 最後にここに来たのが僕だから、それから向こうではどれくらい経ってるんだろ？

ラグ お任せください！えーと確か…時間を3688回、回ってます！

ピンボケ 正確じゃないにしても大体の目安で考えて…。

ボロ ラグの時計はズレてるの？

ラグ そんな事はありませんよ。

メッキ 嘘をつくな。

ピンボケ　ここで二〇年以上は経ってるって事は、向こうでは一カ月と半分いかにないくらいかな。  
オミト　だったらあまり大きな変化はないかも。

ボロ　何でそうなるの？

メツキ　向こうでの一日はこっちの世界で二カ月ぐらいだっけか？

ワンイア　全員の話を読らし合わせたらそうなたんだっけ？

ボロ　何でそんなに違いがあるの？

メツキ　知らねー。

ベニサシ　後は…そうだ。この子にもテルテル坊主を持たせてあげないと。

ピンボケ　そうだね。予備を取ってくる。

ピンボケはける。

ボロ　テルテル坊主？

ベニサシ　此処では、よく白い雨が降るの。

ボロ　雨って空から水が落ちてくるやつでしょ？

ベニサシ　そうよ。

ボロ　でも水って白かったっけ？

オミト　此処では雨が白いんだ。

ボロ　何で？

ベニサシ　それも何でかは分からないけど、その白い雨を長い間浴びてしまうとね、私達は消えてしまうの。

ボロ　何処かに行っちゃうって事？

ベニサシ 有り体に言うと死ぬって事。

ボロ 何で？

ベニサシ 私達の魂みたいな物が真っ白に塗り潰されるとか…そんな感じかしら。

ラグ ワンイアーさんの耳が片方ないのはそのせいです。

ボロ 耳だけ？

ワンイアー 此処に来たばかりで意識が無い時に、片耳だけ白い雨の水溜りに浸かってたんだよ。

ボロ じゃあ雨が降ったら、みんなどうしてるの？

ラグ 基本的には雨宿りをするのですが、近くに雨を凌げる場所がなければこのテルテル坊主を使うのです。方法は何でもいいから、何処かにぶら下げれば雨が避けてくれるんだ。

オミト

ピンボケ、テルテル坊主を持って入ってくる。

ピンボケ はい。(ボロに渡す)

ベニサシ ずっと下げると効力が無くなるから、普段は仕舞っておきなさい。

ピンボケ 顔が消えると使えなくなったサイン。貴重だから無暗に使っちゃダメだよ。

ボロ 沢山は作れないの？

ピンボケ 作ってる訳じゃなくて拾ってくるんだ。

オミト そのダンボール箱は本来ならキレイで役に立ちそうな物が入ってて、その中に時々一緒になってるんだよ。

ボロ 自分達で作ったりはできないの？

オミト 考えた事もなかったけど、たぶん無理なんじゃないかな？

ボロ 何で？

オミト 雨が避けてくような不思議な効果をつける方法なんて知らないし。

ボロ 方法はないって事？

メッキ 質問ばっかだな。

ボロ だって気になるんだもん。

ピンボケ まだ言って置きたい事があるんだけどいい？

ボロ うん。

ピンボケ ダンボール箱を見つけたら必ず開ける前にみんなに知らせる事。

ボロ 何で？

ピンボケ 貴重なテルテル坊主は争いの原因になる。そうならないように、みんなが見てる前で平等に分け合うんだよ。

オミト しばらく行った先に博物館っていうゴミとかガラクタが沢山置いてある場所があるんだ。たぶん人間の世界の物が集まり易い所なんだと思う。だからなのか、ダンボール箱もそこで見つかる事が多いよ。

ボロ じゃあ皆でその博物館って所に探しに行ってるの？

メッキ 俺は…全然行ってねえかな。

ラグ 私も時間を伝えて回るのが忙しいので…。

ワナイア オミトはコソコソ行ってるみたいだけど。

ボロ コソコソ？

オミト 実は博物館には、とても怖い物があるんだ。

ペグ爺入ってくる。

ペグ爺 貴様ら。

オミト 嘘でしょ？

ボロ そつか、6人って言ってたもんね。

ペグ爺 誰だ？

ベニサシ ついさつきここに来たばかりなの。

ペグ爺 また増えたのか。

ボロ 私ボロ。みんなが考えてくれた名前なんだよ。

ペグ爺 そこまで聞いとらん。

ボロ あなたの名前は？

ペグ爺 ワシは別の用があつて来たんだ。

ベニサシ、ボロを自分の元へ引き寄せる。

ペグ爺 今しがた博物館に行つてみたら何かを引きずつて運んだような跡があつた。時々こちらに届くあの箱程の大きさだ。  
メッキ (小声でオミトに) お前…。

ペグ爺 (箱に気付き確認して) 中身はどうした？

ワンイア テルテル坊主なら入つてなかつたよ。

ペグ爺 同じ事を言わせるな。

ピンボケ 信じて貰えないかもしれないけど、その中にはこの子が入つてたんだ。他は何も入つてなかつた。

ペグ爺 貴様が何処かにやったのか？

ボロ んーん。目が覚めたらその中にいたの。

ペグ爺 ふざけた事を…。

ベニサシ 本当よ。嘘じゃない。

ペグ爺 (しばらく考えて) 訳は分かんがまあいい…箱を運んできたのは誰だ？

オミトに目線をやる一同。

ペグ爺 ワシの邪魔をするなど何度言えば分かる？

オミト 別に邪魔をした訳じゃ…。

ペグ爺 ここまで来させておいて邪魔をしていないと言うのか？

オミト …ごめんなさい。

ペグ爺 仕方ない…貴様らは箱を見つけたら皆で中を確認しているんだろ？どうやって連絡をとっている？

ピンボケ ラグにお願いしてる。

ペグ爺 今後はワシにも教える。ワシは大体博物館辺りにいる。

ラグ …分かりました。

ボロ 何でそんなに機嫌が悪いの？

ベニサシ ボロ！

ペグ爺 文句があるのか？

ボロ 分からないから聞いた。

ベニサシ 来たばかりで何も知らないのよ！だから…。

ペグ爺 貴様らに愛想よくする理由がないからだ。

ボロ 理由がないから機嫌が悪いの？

ペグ爺 機嫌が悪いんじゃない。ワシは貴様らが嫌いなんだ。

ボロ 何で嫌いなもの？

ベニサシ もう止めなさい。

ペグ爺 さつきから馴れ馴れしいぞ。

ボロ ねえ教えてよ。

ペグ爺 やかましい！

ペグ爺はける。

メッキ ハラハラさせんなよ。

ボロ 私、何か悪い事した？

オミト 博物館には怖い物があるって話したよね？それがあのペグ爺なんだ。

ボロ 確かに怒りっぽそうだけど、そんなに怖いのか？

## M 2

メッキ ペグ爺はな、仲間殺しの疑いがあんだ。

ピンボケ あくまで疑惑だけどね。

ワナイア あのジジイならやり兼ねないだろ。

ラグ 昔、私達にはもう一つ仲間がいて、ペグ爺さんはその方と北の丘の頂上へ向かおうとしたんです。ですが途中、白

い雨が降って来て近場に雨宿りできるような場所もなく、テルテル坊主もすでに効力を失っていたようでして、消えてまう事を恐れたペグ爺さんは、何と相手のテルテル坊主を奪い取ったんです。



ピンボケ ペグ爺が持ってたテルテル坊主にその相手の物だつていう印がついてたらしいんだよ。

ラグ 戻って来たのはペグ爺さんだけで何も喋ろうとしませんでした…恐らく相手の方は消えてしまったのでしよう。

ボロ 何で北の丘って所に向かおうとしてたの？

オミト 北の丘の頂上には人間の世界に生まれ変われる何かがあるって言われてて、それが目当てだったのかも。でも道中

は何もない平地が続いてて雨も頻繁に降るから、テルテル坊主を沢山持ってないと辿り着けないんだ。

ボロ 誰も行った事はないの？

ピンボケ テルテル坊主は数が少ないし、本当にそんな物があるのかも分からない。

Mフェードアウト。

ボロ ペグ爺は元々何だったの？

ピンボケ 確かバイオリンだったかな？

ワンイアーはけようとする。

メツキ 何処行くんだよ？

ワンイアー 一段落ついたろ？ジジイも仲間が箱に入って来る事については知らなさそうだったし。

ワンイアーはける。

ベニサシ 私達はどうする？

ボロ 私、色んな所見て回りたい。

ピンボケ ならここを案内してあげよっか。

ラグ 良いですね。移動中は私が時間の素晴らしさをお教えて差し上げます。

ボロ 私、あっちに行きたい！

ボロはける。

ベニサシ ちょっと待って！

ラグ 時間のお話をすると言いましたよね？

MS3 ベニサシとラグ、それぞれはける。

オミト 案内じゃなくなっちゃった。

ピンボケ 苦手なタイプかも。

全員はける。暗転。

### 3. ボロが来てからの日常

明転。ピンボケと寝そべったメツキ板付き。

メツキ 静かだなあ。

ピンボケ ……。

メツキ 平穩だなあ。

ピンボケ ……。

メツキ 無視か？

ピンボケ え？独り言かと思ってた。

メツキ だとしても相槌くらい打て。

ピンボケ それ何の意味があんの？

メツキ つーかさ、暇さえあればいつもやってるメンテナンスはどした？

ピンボケ 今は…気分じゃない。

ラグとボロ入ってくる。

ラグ 午後の12時ですよー！

ボロ 12時ですよー！

メツキ ……増えてる。

ラグ 午後の。

ボロ 午後の12時ですよー！

ラグ 正しく伝えてくださいね。

ボロ 気を付ける。

ラグ 最初にしては上出来でしょう。改善の余地は当然ありますが。

メッキ 改善の余地があるのはお前だ。

ラグ は？

メッキ 何やかましさを倍にしてんだ？

ラグ ボロさんから興味があるので一緒に回りたいと言いつ出したんですよ？

メッキ 断れよ。クソ鬱陶しい。

ラグ 良い心掛けじゃないですか。

メッキ 俺からすれば迷惑でしかない。

ピンボケ (ボロの様子を見て)メッキ。

メッキ こっちの都合も考えろよ。押付けがましいにも限度つてもんがあるだろ。

ピンボケ メッキ！

メッキ なんだよ？いつもは止めねえくせに。

ボロ …ごめんなさい。

間。

メッキ まあ…次からはお静かに。

ボロ 何時かが分かるかね、いろいろと便利なんだって。でも皆その事を分かってないってラグが悩んでた。

ピンボケ その姿を見て可哀相だなんて？

ボロ うん。

ピンボケ だから手伝ってあげてるの？

ボロ うん。

メッキ 微妙に事実と違うじゃねえか。

ラグ 少なからず興味がないと自分から手伝うなんて言い出さないでしょう？

ピンボケ 興味あった？

ボロ 普通。

メッキ 無いな。

ピンボケ 無いね。

ボロ でも大きな声が出せて楽しい。

メッキ お前優しいな。

ボロ そんなでさっきオミトの所に行った時、一緒に宝探しに行く約束をしたんだ。

ピンボケ ボロもそういうの好きなんだ。

ボロ 宝探しに行く事、ベニサシには内緒だよ。

ピンボケ 何で？

ラグ オミトさんと宝探しとなれば博物館に行くでしょう？ペグ爺さんに会う危険があるので反対しているんです。

メッキ すっかり保護者だな。

ボロ 絶対に言わないで。

ピンボケ 分かった。

ボロ 後、ワナイアアの所では耳触らせて貰った。

メッキ お前会う度に触ってんだって？しかも耳って…。

ボロ 変かな？

メッキ って言うより、よく殴られねえなって思うわ。

ラグ かなり複雑そうではありましたけどね。

ワナイア、袋を持って入ってくる。

ワナイア　ボロ。

ボロ　どうしたの？

ワナイア　宝探し行くのに袋忘れてるよ。

ボロ　ありがとう。(袋を受け取る)

メッキ　マジか？

ワナイア　何が？

メッキ　お前までボロに世話焼くようになったんだな。

ワナイア　あ…。

メッキ　自分の異変に気付いてなかったのか？

ワナイア　何というか…その…。

ボロ　ワナイアー。

ワナイア　ん？

ボロ　しゃがんで。

ワナイア　さっき触ったばっかだろ。

ボロ　もう一回。しゃんがんで。

ワナイア　別に面白くも何ともないし。

ボロ　お願い。しゃがんで。

ワナイア　嫌だね。

ボロ　　しゃがんで！

ワナイアー、はげようとするがボロが駄々をこね始めた為、嫌々しゃがむ。その様子を見ているその他一同。

ワナイア　あんだあっ！！

ボロ、驚いて手を放す。

ワナイア　（溜息）触っていいから。

ボロ　　大丈夫？

ワナイア　いいから。

再び耳を触るボロ。

ワナイア　言いたい事があるならばつきり言いなよ。

メツキ　続けるんかい。

ピンボケ　ギャップに驚いただけで別に茶化したつもりは無いんだ。

ラグ　　勝手なイメージかもしれませんが、すぐには拭えないのです。ご容赦願えませんか？

ワナイア　そんなにおかしい？

ピンボケ　いや、誰かに対して親身になるのは良い事だからね。

メツキ　　そういえばオミトの居場所分かってんのに着いてかないのか？

ワナイア ……。

メッキ 聞いてんだけど。

ワナイア もうどうでもいいから、あんなの。

ピンボケ 何かあったの？

ボロ オミトいじめちゃダメだからね。

ワナイア 分かってるよ。

ラゲ なるほど。

メッキ その調子でもっとおしとやかになれな？

ワナイア 殺すよ？

**ボロ、手を離す。**

ワナイア いちいちビビってんじゃないよ。

ボロ だってワナイアー怒ってる。

ワナイア あんたには怒ってないだろ。

ボロ みんなと喧嘩してる。

ワナイア これは…ある意味、コミュニケーションみたいなもん。

ラゲ ボロさんが来るずっと前からこんな感じですよ。

ピンボケ そうそう、だから心配しなくても大丈夫。

ワナイア オミトが待ってるんだろ？早く行きな。

ボロ 分かった。



ボロはける。

ラグ ベニサシさんですけど、ボロさんには不思議な魅力があるんですかね？

メッキ どうなんだ？

ワンイア あたしに聞くのおかしくない？

メッキ 意地張んなよ。隠す事でもねえんだからさ。

ワンイア 知るか。

ラグ まあ一緒に居ると、お世話をしたくなるのは確かです。

メッキ お前はお世話して貰ってたんじゃないかったか？

ワンイア それよりオミトの話の続きだけ…。

メッキ もういいわ、必死か。

ワンイア そっちが吹っかけてきたんだろ！

ラグ 話し合えば合う程、納得できる結果から遠ざかると思います。

ワンイア どういう意味？

ピンボケ メッキと真面目に向き合ってもストレスが溜まるだけだよ。

メッキ 言い方…。

ラグ 暖簾に腕押し、ヌカに釘、豆腐にかすがい、沼に杭…人間の世界には、無駄を現す言葉がこんなにより、それだけ「損をする」という事を問題視しているのです。

メッキ だったらお前も布教活動止めろよ！

ラグ 時間は大切にすべきです。ね？

ワナイア …これ以上は止めとく。  
メツキ いやいやいやつ。

メツキをじっと見る3つ。

ピンボケ 向こうでメツキの悪口言わない？  
ワナイア ホワイトボードがある所にしよつか。  
メツキ 本気出すなや。

ピンボケとワナイアはける。ラグは暫くメツキを見た後はける。

メツキ …待つてよ。

SE メツキはける。場転。オミト入ってくる。少し後からボロ入ってくる。

オミト 息が合うね。僕も今来た。

ボロ 本当？

オミト うん。ペグ爺には見つかってない？

ボロ 大丈夫だと思う。

オミト 此処にも居なさそうだし今回はこの辺りで探そうか。

ボロ 来る途中に思いついたんだけど、二手に分かれて、どっちが良い物見つけるか勝負しない？

オミト　いいね、それ！

ボロ　凄いの見つけてオミトを驚かせる。

オミト　僕、ボロと宝探しに行くの凄く楽しい。

ボロ　ん？私もだよ。

オミト　同じ趣味を誰かと共有できるなんて思ってた無かった。

ボロ　こんなに楽しいのに？

オミト　興味がなければ仕方ないよ。それより勝負だったよね？

ボロ　うん。何か見つけたら、また此処に集合。

オミト　分かった。

SE　オミトとボロ、それぞれ逆の方向にはける。照明転換（時間経過）。ボロ入ってくる。

ボロ　私が先か…良さそうな見つからなかった。

ボロ、手持無沙汰な様子。

ボロ　オミトは何か見つけたのかな？

ペグ爺入って来る。

ペグ爺　何をしとる？

ボロ あつ。

ペグ爺 何をしとるんだ？

ボロ ……宝探し。

ペグ爺 あいつと同じか……さっさと何処かへ行け。邪魔だ。

ボロ 私邪魔なんてしない。

ペグ爺 いるだけで邪魔だと言っとるんだ。もしや日記の小僧もいるんじゃないだろうな？

ボロ ……いないよ。

ペグ爺 ならいい。早く行け。

ボロ あの…。

ペグ爺 問答をするつもりはない。言葉だけで済ますのは最初だけだぞ。

ボロ あなたって怖い人なの？

ペグ爺 何？

ボロ 皆言ってる。ペグ爺には近づくなつて。

ペグ爺 ……内容に興味はないが想像はできる。仲間殺しだろ？

ボロ うん。

ペグ爺 貴様も存在を消されたいか？

ボロ 嫌だ。

ペグ爺 なら大人しくワシの言う事を聞け。

ボロ、はげようとすが立ち止まる。

ボロ 此処で何をするの？

ペグ爺 ああ？

ボロ 私手伝う。

ペグ爺 何故そうなる？

ボロ だって皆の話した時、悲しそうな顔してた。

ペグ爺 …そんな顔はしとらん。

ボロ したよ。

ペグ爺 聞かれた事の答えになっとらんだろ。話の筋が散漫な奴だ。

ボロ 何かに一生懸命で誤解されてるのかなって。

ペグ爺 飛躍し過ぎとる。

ボロ 困ってる事があるなら言って。

ペグ爺 困っているなど一言も言っとらん。

ボロ 無いって事でいいの？

ペグ爺 どんな相手か知りもせず一方的な解釈で親切か？ワシも見習わんとな。

ボロ 誰かに優しくするのは良い事だからね。

ペグ爺 皮肉で言っただ。

ボロ そうなの？

ペグ爺 そもそも何をするか貴様に教える理由はない。

ボロ じゃあ教えない理由はあるの？

ペグ爺 口の減らん奴だな。

ボロ 理由がないなら教えてよ。

ペグ爺

いい加減にせんと…。

ボロ

私にはあなたが無理してるように見えるんだよね。

ペグ爺

……。

ボロ

もしかして本当は寂しいの？

ペグ爺

黙れっ！！

間。

ペグ爺

新参物がペラペラと…そんなに喋りたいなら他の馬鹿共と喋っている！

ボロ

他の馬鹿って…皆の事？

ペグ爺

当たり前な事を聞くんだな？同じ馬鹿には説明が必要か？

ボロ

その言い方止めて。

ペグ爺

嫌なら早く何処かへ行け！

ボロ

博物館は誰の物でもないんでしょ？だったら何処か行けなんて言うのはおかしい！

ペグ爺

本当に消してやろうか？

ボロ

今は雨が降ってないから無理だもん。

ペグ爺

貴様っ。

オミト入ってくる。

オミト

ごめんなさい！許してください！

ペグ爺 やはり来とったのか。

オミト 本当にごめんなさい！金輪際、此処には来ませんから！

ペグ爺 もう聞き飽きた！

オミト 許してください！お願いします！

ペグ爺 なら貴様の謝罪が本物だと証明しろ！

オミト それは…どうすれば…？

ボロ そんなの必要ないよ。私達は悪い事してない。

ペグ爺 それを決めるのは被害を受けているこのワシだ！

ボロ 私の心の中は私が決めるの！

ペグ爺 ……。

オミト 落ち着いて！理屈がよく分かんないから！

ボロ あなたがどう思おうと私達は絶対悪くない！

ペグ爺はける。

オミト 何で？

ボロ (その場に座り込む)

オミト 大丈夫？

ボロ うん。

オミト まさかペグ爺に食って掛かるなんて…。

ボロ 喧嘩するつもりはなかったんだよ？

オミト とにかく大事には至らなくて良かった。

ボロ 絶対っていうのは言い過ぎだったかな？

オミト いや、あれは誰が見ても自己中心的な被害妄想だね。

ボロ 私のせいでオミトまで巻き込んだじゃった。

オミト そんなの気にしなくていい。

ボロ ありがとう。

オミト お礼を言われる程の事じゃないよ。

ボロ 私を庇ってくれたでしょ？

オミト あ、そっちな。

ボロ 必死に私を助けようとしてくれた。

オミト 止めてよ。あんなの、みっともないったらない。

ボロ カッコ良くないと駄目なの？

オミト 駄目って事はないんだらうけど、どちらかといえね。

ボロ 関係ないような気がするけど。

オミト 本質が大事なのは分かってる…所で良い物見つかった？

ボロ んーん。

オミト 僕も今回はハズレ。

SE ボロとオミト、会話しながらはける。短い暗転。明転。ピンボケ入ってくる。被写体をセットし、撮影するもシャッ

ターが落ちない。そこへメッキ入ってくる。



メツキ いつもの場所にいねえからさ……ボロとベニサシが後で来るってよ。  
ピンボケ 何しに？

メツキ さあ……あのっ。

ピンボケ 何？

メツキ ……何でもねえ。

沈黙。

ピンボケ どうしても諦めきれないんだ。

メツキ 前から知ってはいたけどよ……やっぱシャッターが決め手か？

ピンボケ うん。

メツキ けど、この先続ける度に辛くなるんじゃないの？

ピンボケ 今以上に状態が悪くなっていくからって事？

メツキ ……。

ピンボケ 皆は捨てられた事をつくに受け入れてるのに僕だけ未練がましいよね。

メツキ そこまでは思ってたねえよ。

ピンボケ これは僕が思ってる事。

メツキ だったら……。

ピンボケ 元通りに直る事を望ではない。ただ、これで最後って覚悟持った写真を一枚でいいから撮りたいんだ。

メツキ ……。

ピンボケ 時が立てばどんな物でも壊れる。ちゃんと分かってるから。

メツキ そういう事なら、まあ…。  
ピンボケ まだやっておきたい事があるし僕もう行くね。

ピンボケはける。少し後からベニサシとボロ入ってくる。

ベニサシ 違う場所にいるなら言つてよ。探したじゃない。

メツキ 俺もピンボケを探してたんだ。

ベニサシ 見つからないの？

メツキ 丁度入れ違いだ。今は忙しいって。

ベニサシ そう。

メツキ 何だったんだ？

ベニサシ 皆が此処にくる前の話をしてて、ピンボケの話題になった時にボロが写真を見たいって言い出したの。

メツキ あいつが自分の写真の事、気にしてるの知ってるだろ。

ベニサシ いくら説明しても聞かないんだもの。

メツキ 兎に角、それが理由で会うのは止めとけ。

ベニサシ そんなに悩んでたの？

メツキ ああ、状態も前より悪くなってる。

ベニサシ 思ってたより深刻だったのね。

メツキ 今後も写真の事には触れるなよ。

ボロ 何処に行ったの？

メツキ まさか会うつもりか？

ボロ つもりだけど。

メツキ あのなっ…いや、あいつを氣遣ってるんだろが今はそつとしいてやれ。

ボロ 何で？

メツキ あいつの中でしか解決できない問題なんだ。向こう岸から優しさ見せられてもムカつくだけだろ。

ボロ いろいろ試してみたの？

メツキ 世の中には予想で判断できる事ってのがあってな？分かってて失敗するのは愚物っつーんだ。

ボロ でも…。

メツキ 「やってみなきゃ分からない」とかいう綺麗事は、相手を不愉快にしているいい免罪符にはならねえぞ。

ボロ 私、ピンボケの写真が見たいんだもん。

メツキ お前の都合で喋ってたのか？

ボロ それだけじゃない。ぼやけた写真が駄目だなんて決めつけるのはおかしい。

メツキ 明らかに欠陥だろ。

ボロ 欠陥であつても誰か一人でもその写真を良い思ったら、悪い物って言い切れなくなるんじゃない？

メツキ 悪くねえからって、あいつが救われるとは限らねえ。

ボロ 悪くないかどうかは分からない。悪かったら悪いって言うけど？

メツキ ちよつと待て！

ボロ それで良くなるように私も手伝う。

ベニサシ 直し方知ってるの？

ボロ 知らない。だから一緒に良くなる方法を探す。

メツキ …そんな簡単じゃねえよ。

ボロ 行動するのは簡単だよ？

メツキ ……。

ポロ ピンボケが何処に行ったか教えて。

無言のメツキを不思議そうに見るポロ。

メツキ 向こうに歩いてった。

ポロ ありがとう。

ベニサシ 私達は後から行くわ。

ポロ 分かった。

ポロはける。

ベニサシ ポロは相手に同情はするけど哀れみはしないのよ。

メツキ ……仕方ねえって思うのは結局は面倒臭がつてる事になんのか？

ベニサシ 状況に依るんじゃない？

メツキ そりゃそうだろうけど…。

ベニサシ 自分の都合だけなのであれば、それは面倒臭がつてたんでしょうね。

メツキ 俺の性格的に、ちよつと不安だな。

ベニサシ 普段感じてない物を感じてるんだから安心していいわよ。

メツキ すっげえ皮肉。

ベニサシ ピンボケ探しに行きましょ？

SE                   メッキ、ベニサシはける。照明転換。ピンボケ入って来る。しばらくしてボロ入ってくる。

ボロ               見つけた。

ピンボケ       ああ、用があつたんだっけ。

ボロ               うん。

ピンボケ       どうしたの？

ボロ               ピンボケが撮った写真を見てみたいと思って。

ピンボケ       ：何で？

ボロ               興味があるから。

ピンボケ       ガツカリするだけだよ。

ボロ               ぼやけてるんでしょ？ベニサシから聞いた。

ピンボケ       知ってて来たの？

ボロ               だって私が何を感じるかは分かんないし。

ピンボケ       どんなのか想像できるでしょ？

ボロ               でも見てみたい。

ピンボケ       見せたくない。

ボロ               何で？

ピンボケ       言いたくない。

ボロ               そんなに自分の写真が嫌いなもの？

ピンボケ       何？それ。

ボロ ちゃんと写真が撮れなくて悩んでるってメツキが言ってたから。  
ピンボケ ……。

ボロ 私にできる事があつたら手伝うよ。

ピンボケ 何ができるっていうの？

ボロ 分かんない。だから何ができるか教えて。

ピンボケ 分かってれば苦労しない。

ボロ なら一緒に直す方法を探そう。

ピンボケ 既に散々探した。

ボロ 二人でなら新しい発見があるかも。オミトも宝探しの時言ってたよ。

ピンボケ 遊びと一緒にしないで。

ボロ でも何もしないのはヤだ。

ピンボケ それって自己満足だよね。

ボロ 自己満足？

ピンボケ 献身的な自分に酔ってるか、私は頑張りましたって思いたいだけでしょ。

ボロ 難しく分かんない。

ピンボケ 正当な理由がないから答えられないんだ。

ボロ そんな事言われても…。

ピンボケ あるなら早く答えてよ。

ボロ だってピンボケが好きなんだもん。それだけじゃ駄目って事？

ピンボケ ……。

ボロ 他には…（しばらく考えて）ごめん、思いつかない。

ピンボケ …そう。  
ボロ …じゃあ私だけで探すね。

M4 …メツキ、ベニサシ入ってくる。

メツキ …おす。

ピンボケ …ああ。

メツキ …あの…ちゃんと写真を撮れるようになりたいんだよな？

ピンボケ …え？うん。

メツキ …俺にも手伝わせろ。

ピンボケ ……。

メツキ …機嫌を損ねるなよ？いつもツルんでる奴、助けたいと思って何が悪い？

ピンボケ …まだ何も言っていないし、何で怒り口調なの？

メツキ …ああいや…。

ピンボケ …僕の事そういう風に思ってたんだ。

メツキ …当たり前前だろ。あんな近寄んなオーラ出されたら。

ピンボケ …確かに。

メツキ …お前、案外普通か？

ピンボケ …案外…ね。

メツキ ……そうか。

ピンボケ …普通じゃない方が良かった？

メッキ んな事ねえよ。覚悟決めて来たモンだから…。

ピンボケ じゃあ…少し頼ってみようかな。

メッキ 本当か？

ベニサシ だったら私も協力する。

ボロ 私の時は嫌がってたのに！

ピンボケ ごめん。ボロにも手伝ってほしい。いいかな？

ボロ もちろん。

MFO。

メッキ まずはカメラの仕組みを教えてください。言われたまんまじゃ新しい発想も生まれねえだろうし。

ピンボケ 部分的に説明をすると、写真がぼやけるのはフォーカス機能に問題が…。

ボロ あっ！また今度でいいから写真見せてね。

メッキ まだ言ってるのか？

ボロ 良いか悪いかを皆だけで決めるなんてズルい。

ベニサシ ズルい？

ボロ だって皆はピンボケの写真を見たんでしょ？私にも感想言わせてよ。

ピンボケ 全員は見えないけど。

ボロ そうなの？まあいいや。約束だよ。

メッキ まあいいやじゃねえわ。

ピンボケ 一枚だけ持ってた。



ピンボケ、ボロに写真を渡す。

ボロ ありがとう。

写真を受け取り、ジッとみるボロ。

ベニサシ どう？

ボロ あのさ…。

ピンボケ 何？

ボロ これ私に頂戴？

M5 (FOしたMを切りの良い所から)

ボロ ピンボケは良くないと思ってるんでしょ？だったら私に頂戴。

ピンボケ こんなの…何で欲しいの？

ボロ 何だか世界が違って見える。

ピンボケ どういう事？

ボロ 私達が見ている世界は全てがはっきりした世界ね？でっ、この写真は全てが何となくの世界。

ピンボケ うん。

ボロ それが凄く不思議なの。

メッキ つまり良い写真って事か？

ボロ 写真としては良くはないかも。何が写ってるか分かんないし。

メッキ おっおう。

ボロ でも変な魅力があるから私は好き。

メッキ 変なってお前…。

ピンボケ やっぱり直すのはもういや。

メッキ 気を悪くしたか？

ピンボケ そうじゃなくて何て言うか…別にいつか、みたいな。

ベニサシ 突然どうして？

ピンボケ 物の良し悪しなんて周りに任せておけばいい。僕が考える必要ないなって。

メッキ 最後の一枚ってのは…？

ピンボケ そんな覚悟を持った所で誰に何て言われるか分かんないじゃん。

メッキ 変化に追いつけねえぞ。

ピンボケ 小さな自己満足に固執するのが馬鹿馬鹿しくなったんだよ。

ベニサシ 本当にそれだけ？

ピンボケ (口籠った末) ボロ。

ボロ ん？

ピンボケ 何かあった時、今度は僕が助けるから。

ボロ まだ何もしてない。

ピンボケ まあそう感じるだろうね…写真、大切にしたい。

MFO。

ボロ　くれるの？

ピンボケ　うん。

ボロ　ありがとう！

Mが鳴り止んだと同時にペグ爺入ってくる。驚く一同。

ペグ爺　日記の小僧は何処にいるっ！？

ピンボケ　知らないけど…。

ペグ爺　貴様ら、ワシの所有物を持ち出したりしとらんだらうなっ！？

メッキ　所有物がどんなモンか分かんねえし、博物館にも言っただよ。

ペグ爺　新参物！貴様は隠れて物を漁りに来とるんだろ！

ボロ　最近は何も持ち帰ってない。

ベニサシ　博物館に行ったの？

ボロ　あ…。

ペグ爺　嘘だったら承知せんぞ！

ボロ　本当だよ。嘘じゃない。

ペグ爺　だとしたら、やっぱりあの小僧か…。

ボロ　何が無くなったの？

ペグ爺　…。

ボロ 教えてくれないと持ち帰っても答えられないよ。

ペグ爺 …楽譜だ。

ボロ 楽譜って何？

ピンボケ 音符を書き記した物の事だよ。音楽を奏でる時それを読むんだ。

ペグ爺 知らんならもういい！

ペグ爺はける。

ベニサシ あんな動揺してるペグ爺見た事ない。

ボロ 大丈夫かな？

メツキ 心配するこたねえよ。

ベニサシ オミトが見つからないといいけど…。

ピンボケ そうなる前に探しに行こう。

全員はける。短い暗転。明転。オミトを先頭にピンボケ、メツキ、ベニサシ、ワナイア、ラグ入ってくる。

オミト 何で僕が疑われてるのっ！？そんなの知らないよ！

ワナイア 日頃の行いだね。

オミト でも…だからって…。

ピンボケ いろんな場所を探し回ってて、誰がいつ鉢合わせてもおかしくない。気を付けるのはオミトだけじゃないよ。  
ラグ しかし誰も盗ってないなら、その楽譜は何処へいったのでしょうか？

ベニサシ 少し前にいつもより激しい雨が降ったでしょ？それじゃないかしら？

ワナイア 意志を持たない物は消えないはずだろ。

ベニサシ そうじゃなくて流されちゃったとか。

ラグ ありえますね。かなり風も吹いてましたから。

オミト 絶対それだ！そうに違いない！

メッキ ペグ爺に説明してこいよ。

オミト そこは誰かがしてくれるんじゃないの？

メッキ だって事実と言うより、お前の願望じゃん。

ワナイア そういやボロは？

ピンボケ …見当たらないね。

メッキ 何処行ったんだ？

ベニサシ 何かにすぐ気を取られて夢中になっちゃうのよ。

オミト 今ペグ爺に出くわしたら…。

ベニサシ 私が目を離れたから…どうしましょう…ああどうすれば…。

ラグ 落ち着いてください。

SE ピンボケはける。追いかける様に全員はける。照明転換。ペグ爺入ってくる。行き詰っている様子。ボロ入ってくる。

ボロ そんなに大事な物なの？

ペグ爺 日記の小僧の居場所が分かったのか？

ボロ あなたの事が気になったの。

ペグ爺 分からないならワシに付き纏うな。

ボロ でも…。

ペグ爺 無理をせんでいい。ワシの事が嫌いなんだろう？

ボロ そんな事言ったっけ？

ペグ爺 もう忘れたのか？

ボロ この前、喧嘩した事？

ペグ爺 ……。

ボロ だから嫌いってよく分かんないけど…とりあえず「楽譜」っていうのが置いてあった場所を教えて。

ペグ爺 どういうつもりだ？

ボロ 私も一緒に探す。

ペグ爺 そんな事をして、お前に何の得がある？

ボロ 得ってどうか興味がある。

ペグ爺 興味？

ボロ その楽譜の音楽がどんなのか。

ペグ爺 ……。

ボロ もし私が見つけたら、あなたが弾いて聞かせてよ。

ペグ爺 何故ワシが…。

ボロ 私が見つけたらでいいから！

ピンボケ (袖から) ボロっ！

ピンボケ、ベニサシ、ワンイア、ラグ、メッキ入ってくる。ボロを引き寄せ、ベニサシが受け止める。

ベニサシ この子に近寄らないでっ！

ボロ 私、何もされてないよ。

ラグ たまたま無事だっただけです。

ペグ爺 手を出すも何も、そいつの事などどうでもいい。

メッキ そう言う割には絡んでた様に見えたけどな。

ペグ爺 絡んで来たのはそいつだ。迷惑しとるのはこっちだぞ。

ワナイア 迷惑を撒き散らしてる奴がほざくなよ。

オミト、ゆっくり入ってくる。

ペグ爺 貴様ら、普段と違って随分と強気だな。

オミトを見つける。

ペグ爺 いつからそこにいた！

オミト いやっあの…楽譜を何処かにやったのは僕じゃないです！

ペグ爺 貴様以外に誰がいる！？

オミト 前にあった大雨で流されちゃったとか…。

ピンボケ 一方的に決めつけるのは違うんじゃない？

ボロ ねえ皆…。

ワインア 勘違いしてる様だけど、あんたなんて本当は大した事ないから。

メッキ 早く行けよ！

ペグ爺 不愉快な奴らだ！

ペグ爺はける。

ベニサシ 大丈夫だった？

ボロ だから何もされてないって。

ラグ どうして機嫌が悪そうなんですか？

ボロ 誰も私の話を聞いてくれないんだもん。ペグ爺は悪い事なんてしてない。

ワインア あいつは仲間を殺す様な奴なんだ。何か起ってからじゃ遅いだろ。

ボロ 本当かどうか分からないでしょ？

メッキ それを抜きにしても、あいつは皆を不安にする。

オミト 僕が理不尽に怒られるの見たよね？

ボロ ……。

ピンボケ 向こうも孤独を望んでるし、無理に関わる必要ないよ。

ベニサシ そうだ、ピンボケに他の写真も見せて貰いましょう。(ピンボケに) あるんでしょ？

ピンボケ あるけど…。

ベニサシ ほら行きましょう？

M 6 全員はける。暗転。明転。ラグとオミト入ってくる。



ラグ 私の所にも来なくなりました。覚える事がまだあるというのに。  
オミト 僕だけじゃなかったんだ。ポロ、宝探し飽きちゃったのかな？

ラグ ベニサシさんとも話しましたが最近よく出かけて行くと仰ってました。

オミト 別に何かをやってるって事？

ラグ 恐らく。

オミト ベニサシは何処に行ってるか知らないの？

ラグ 聞いてもはぐらかすそうです。後を着けた事もあるらしいのですが、すぐに見失ってしまうそうです。

ワナイアー入って来る。

オミト うっ…。

ワナイア あ？もう突っかかりしてないだろ。

ラグ 今しますよ。

ワナイア (舌打ち) 丁度いいや。ポロの事で聞きたい事があるけど。

ラグ 我々もポロさんの話をしていたんです。

ワナイア 何か知ってるの！？

ラグ いえ、全く…っていうかベニサシさんの所には行ってないんですか？

ワナイア もう行ってきた。詳しい事は知らないって。

ラグ それで我々の所に。

ワナイア あんたらを見つけたのは偶然だけど。

ラグ その様子だとワナイアーさんの所にも来なくなったようですね。

ワナイア あんたらも？

ラグ はい。

ワナイア ……そうか。

オミト 心配…だよ。

ワナイア 少し気になる程度だよ。

オミト 正直僕の場合、寂しさもあるんだ。

ワナイア だから？

オミト いやっその…ごめん。

ワナイア はあ？

オミト 話掛けるのは時々にするよ。

ワナイア あんたはあたしに何を許してほしかった訳？

オミト 許してほしいとかじゃないんだ。

ワナイア 謝るってそういう事だろ。

オミト でもちよっと意味は違ってて…。

ラグ 流石に目に余りますね。

ワナイア 仕方ないだろ。ボロに言われて実力行使ができなくなったんだから。

ラグ オミトさんは関係を改善する為の努力していたんじゃないんですか？

オミト 喧嘩になるのはちよっと嫌かな。

ラグ オミトさんも言うべき事は言わないと。

オミト そうかもしれないけど今の僕にはこれが限界。

ワナイア 何？限界って…本当に仲良くなるうとか思ってた訳？

オミト ポロが僕を庇ってくれたから、こうやって落ち着いて喋れる機会が出来た訳で…守ってくれてる事に甘えたままだと自分が情けないなって。

ワナイア ……。

オミト 馴れない事をするのは、やっぱり難しいな。

ワナイアーはける。

ラグ 困った物ですね。

オミト …まあ。

ラグ ですが安心してください。時間に解決できない物はありませんから。

オミト ありがとうございます。

ワナイアー入ってくる。

ラグ …忘れ物ですか？

ワナイア そんなところ。

オミト 何を…忘れたの？

ワナイア あたしは自分の持ち主だった人間の経験から、優しくして貰えるのは弱い奴じゃなくて弱いから努力する奴だと思ってる。

オミト あ…はい。

ワインア あんたと持ち主が被って見えて、それであんたを誤解してた…ごめん。

M7 ワンイアーはける。

ラグ オミトさん？

オミト え？あつ…ごめん。物凄い衝撃が…。

ラグ それは私も同じです。

オミト ワンイアーの元の持ち主は僕みたいな性格の人間だったって事かな？

ラグ もしかすると、単にオミトさんを嫌っていたのでは無かったのかもしれないね。

オミト って言うത്？

ラグ 向こうの世界で我々は、持ち主の方に何もしてあげられません。

オミト ああ…なるほどね。

ラグ 仮説ですが、もどかしい感覚が意識に刻まれたんじゃないでしょうか？

オミト ……。

ラグ さて、この後どうします？

オミト 歩きながら考えよっか。

ラグ そうしますか。

MFO。二つはける。照明転換。ペグ爺、楽譜を探しながら入ってくる。しばらくしてボロも入ってくる。ペグ爺は  
けようとする。

ボロ 見つかった？

ペグ爺 ……さあな。

ボロ 自分の事なんだから分かるでしょ？

ペグ爺 貴様には関係ない。

ボロ 確かにそうだけど…私は全然見つからない。

ペグ爺 貴様も探しているのか？

ボロ 手伝わって言ったよね？

ペグ爺 どんな物かも分かっていたいなかったらろう？

ボロ 教えて貰ったから大丈夫。本とか紙に記号が沢山書いてあるやつだって。

ペグ爺 ああ。

ボロ 結構探してるのになあ。形がはっきりしてたら、もっと探し易いんだけど。

ペグ爺 ……ワシのは本だ。

ボロ え？

ペグ爺 全部で二冊。本自体は全て見つけたが一枚ページが破れている物がある。

ボロ 今はそれを探してるんだね。じゃあ紙って事か。

ペグ爺 ……。

ボロ 一つだけじゃなかったんだ。

ペグ爺 そうだな。

ボロ 一人でそれだけ見つけるなんて凄い。今までコツコツ集めてたの？

ペグ爺 調子に乗るな。

ボロ すぐ怒る。

ペグ爺、ボロのテルテル坊主の顔が薄くなってるのに気付く。

ペグ爺

それ、顔が消えかかっところぞ。

ボロ

雨の日も探してたから。今度新しいのに変えて貰う。

ペグ爺

そうか。

ボロ

じゃあ私は他を探してくるね。

M8

ボロはける。間を空けてペグ爺はける。照明転換。ボロが舞台上を出たり入ったり動き回って、楽譜を探している。最終的にははけてMFO。メッキとピンボケ入ってくる。

メッキ

ボロの奴、マジ何やってんだ？いい加減分かってもいいはずだろ。

ピンボケ

そうだけどさ。

メッキ

ここまできると絶対おかしいって。

ピンボケ

確かに：普段は引く程自由奔放なのに完璧に隠し通してる。

メッキ

ヤベエ事はしてねえよな？

ペグ爺、探索しながら入ってくる。

メッキ

よく俺らの前に面出せるな。

ペグ爺

ワシにはやる事がある。お互いに存在しないと見えばいいだろ。

メッキ ああそう。

ラグ入ってくる。

ラグ 何故ペグ爺さんが？

ピンボケ ちよつとね…時間を伝えに来たんだつたら…。

ラグ 違うんです。あの…ボロさんは此処に来てましたか？

ピンボケ いや。またどっか行っちゃった？

ラグ つというか…ずっと帰って来ないらしいんです。

ピンボケ は？

ラグ 私とオミトさんとワンイアーさんで探してる途中なんですよ。

メッキ ベニサシはどうしたんだ？

ラグ 帰って来るもしれないので待機して貰ってます。

SE 雨の音。

メッキ おいおい降って来たぞ！

ラグ もし雨宿りできない状況で、テルテル坊主の効力が残ってなかったら…。

ピンボケ 最初に渡した物から交換してない…急ごう。

ペグ爺、慌ててはける。

メッキ 何だ？あいつ。

ラグ さあ。

ピンボケ 念の為、ボロの分のテルテル坊主をとってくる。

メッキ 分かった。

3つはける。雨音強くなる。ボロ入ってくる。

ボロ 雨。

テルテル坊主を確認する。

ボロ もう消えちゃう…雨宿り…。

移動しながら辺りを見渡す。

ボロ ない。

何かを見つけた様子で舞台袖に行き、壊れた傘を持って来る。それを差して座り込む。

ボロ ここ何処？



間。

ボロ 誰か…。

ペグ爺入ってくる。ボロの前まで来る。

ペグ爺 立て。

ボロ立ち上がる。ペグ爺、新しいテルテル坊主を渡す。

ボロ 何でここが分かったの？

ペグ爺 最近ここより手前を探しとったろ。少し先を探しとるんじゃないかと思ったただけだ。

ボロ (泣き)

ペグ爺 泣くな。

ボロ ……。

ペグ爺 いらん手間をかけさせおって。

ボロ これ。

ボロ、破れたページを渡す。

ペグ爺

見つけたのか？

ボロ

これで合ってる？

ペグ爺

…貴様は馬鹿だ。

ボロ

何でそんな事を言うの？

ペグ爺

消えてしまうかもしれないんだぞ！

ボロ

つい夢中になっちゃった。

ペグ爺

見返りだって大した物ではなかったはずだ。

ボロ

私にとつては十分だよ。

ペグ爺

音楽を聞かせる事がか？そんな物の為に必死になる価値などないだろ！

ボロ

でも、大切な物はちゃんと拾わなきゃ駄目でしょ？

ペグ爺

……。

ボロ

約束は守ってね？

ペグ爺

やはり見返りが一番か。

ボロ

嘘は言っていないもん。

ペグ爺

そもそも一方的な約束だろ。それにワシは壊れてしまっていて音が出せん。

ボロ

なら、どうして楽譜なんて集めてたの？

ペグ爺

ワシもよく分かつたらん。消えてしまった物とよくやっておった事だ。習慣になっていたのかもしれないな。

ボロ

一緒に北の丘に行ったって人？

ペグ爺

ああ。ワシと同じ弦楽器で、やたら凶体のデカイ奴だった。

ボロ

ふーん。

ペグ爺

こちらの都合も考えず、無理矢理ワシを助けた貴様以上の馬鹿だ。

ボロ　すぐ馬鹿って言うの止めた方がいいよ。

ペグ爺　（ぼつが悪そうに）おかげで「仲間殺し」なんて呼ばれる始末だ。

ボロ　ペグ爺のせいじゃなかったの？

ペグ爺　…どうだかな。

ボロ　覚えてないの？

ペグ爺　ワシのせいでないとは言いきれん。

ボロ　……。

ペグ爺　突然人間の世界に戻って一緒に音楽を奏でたいなどと振り回されはしたが…真っ直ぐな奴だった。

間。

ボロ　大丈夫？

ペグ爺　（気を取り直して）今ある楽譜の内、二冊はそいつと集めた。

ボロ　残りの∞冊は今まで一人で集めてたの？

ペグ爺　ああ。

ボロ　テルテル坊主を探してたんじゃないかったんだ。

ペグ爺　ついでに見つけた物は保管してあるがな。

ボロ　そっか…じゃあ、その人と一緒に集めてるような感じだったのかな？

雨音が消える。

ペグ爺 何故そう思う？

ボロ その人とよくやってた事なんですよ？だから傍にいるみたいで楽しかったのかなって。

ペグ爺 ……。

ボロ 本当に仲良しだったんだね。

ペグ爺 ……どこまでもあいつに似ておるな。

ボロ へ？

ペグ爺 消えた後でもワシに付き纏っておったのか。本当に迷惑な奴だ。

全員入ってくる。

ベニサシ (ボロに詰め寄って) どれだけ心配したと思ってるのっ!!

ボロ ……ごめんなさい。

ペグ爺はけようとする。

ピンボケ 待って。

ペグ爺 何だ？

ピンボケ ありがとう。

ペグ爺 何の事だ？

ピンボケ ここまでの道しるべを残してくれた。

ペグ爺 貴様らに来て貰わんと後処理に困る。

ペグ爺はける。

メッキ お前今まで何してたの？

ボロ ペグ爺の楽譜を探してた。

ラグ えっ！？またどうして？

ボロ ペグ爺の大切な物だと思ったから。

ワソニア あたしらに止められると思って隠してたのか。

ボロ でももう見つけたよ。

メッキ すげえな。

ベニサシ 何処か行く時はちゃんと伝えてからにして。行っちゃダメとか、あまり言わないようにするから。

ボロ うん…ペグ爺のバオリン聞きたかったな。

メッキ バイオリンな。

ボロ ペグ爺、もう音が出せないんだって。

ベニサシ 代わりになるような物があれば聞けるかもね。

ボロ 代わりになる物って何？

オミト 続きは後にしよ？とりあえずゆっくりしたい。

NG9 バイオリンの曲。全員、会話しながらはける。暗転。

#### 4. 北の丘へ

明転。ベニサシ板付き。ワイヤーリングを作り終えた様子。

ベニサシ できた。

オミト 入ってくる。

オミト (ボロがないの見て) あれ？ボロとラグ、いつもより遅くない？

ベニサシ ……。

オミト 露骨に嫌そうな顔しないでよ。

ベニサシ 宝探しに行っても良いとは言ったけど、頻繁に来られるとね。

オミト でも前と違って危険度は減ったと思うし…。

ベニサシ ペグ爺に見つかったけどスルーされたって話？

オミト うん。

ベニサシ たまたまかもしれないでしょ？っていうか、ボロと黙って博物館に行ってた事、許した訳じゃないからね？

オミト 結構根に持つな…。

ベニサシ ん？

オミト その手に持ってるのは？

ベニサシ これは…腕につけるアクセサリ、ボロへのプレゼント。

オミト 何処で見つけたの？

ベニサシ いえ、私の手作り。

オミト へえー。何か特別な事でもあった？

ベニサシ そうじゃないけど…オミトと集めた物が増えていって、私との思い出は全く形に残ってないなって。  
オミト つまり嫉妬？

ベニサシ 嫌味を言うようになったの？変わっちゃったわね。

ワナイア 入ってくる。

ワナイア どうも。

ベニサシ あなたもボロに用事？

ワナイア まあ…（オミトに）ボロから聞いたけど、これから博物館に行くの？

オミト …うん。

ワナイア あたしも行っていい？

ベニサシ えっ？

オミト いいけど…何で？

ワナイア どんな感じなのかなって。後は説明しなくても分かるだろ？

ベニサシ 私は全然分かってない。

ワナイア また今度説明するわ。

オミト あれから話せてなかったけど…意外と淡々としてるね。

ワナイア まあ腹さえ括ればこんなもんでしょ。

オミト そっか。

ボロ、ラグ、ピンボケ、メツキ入ってくる。

ラゲ 戻りました。

ベニサシ ピンボケとメツキも一緒なのね。

ピンボケ どうしても自分のコレクションを見せたいんだって。

メツキ 早く見せてくれ。

オミト メツキは自分が良いと思ったら、勝手に持って行っちゃうから気を付けて。

メツキ おいっ。

ベニサシ 様子が変よ？

ボロ 何だか…疲れた。

ワナイア ノリのウザい奴がいるからね。

メツキ 俺の事か？

ピンボケ じゃあまたにしよう。

ベニサシ 休む前にボロに渡したい物があるの。いい？

ボロ うん。

ベニサシ、ワイヤーリングを差し出し、ボロ受け取る。

オミト ベニサシの手作りなんだ。

ボロ 凄い…ありがとう。

ラゲ そういえばボロさんがこちらに来ていカ月程立つのに、歓迎等はしてなかったですね。

ボロ どうやって使うの？

ベニサシ これは身に着ける為の物よ。



ボロ 身に着ける？

ベニサシ 輪っかに手を通して腕にはめるの。

ボロ、ワイヤーリング着けようとするが床に落とす。ベニサシが拾う。

ベニサシ はい。

受け取ろうとして、再び落とす。ベニサシが拾う。

ベニサシ 私が着けてあげる。手を出して。

動かないボロ。

ベニサシ どうしたの？

そのまま倒れるのを咄嗟に支えるベニサシ。

ベニサシ ボロ！？

メツキ おい！

オミト 何が起こったの！？

ピンボケ 分からない。

ベニサシ ボロ！ねえボロ！

ワナイア 起きろよ、おい！

ボロ 何だか…ボロっとする。

メッキ ボーっと？

ラグ 私に出来る事はありますか？

ピンボケ ちよつと待って。

ラグ 応急処置だったり何か必要な物があれば…。

ピンボケ 考えてるから！

オミト 何処かが壊れてる様子もない。

ベニサシ 誰も何も知らないの！？

沈黙。

ピンボケ ペグ爺に聞いてみよう。

ワナイア ジジイを頼るの？

ピンボケ 全員分からないんでしょ？ペグ爺なら何か知ってるかも。

ラグ 助けてくれるでしょうか？

ピンボケ ボロが迷子になった時も見つけてくれた。

メッキ それはこいつに借りがあったからじゃねえのか？

ピンボケ 僕達に目印だって残してくれたろ。

メッキ だからって簡単に信用できるか。

ピンボケ 「できない」じゃなくて「つもりがない」の間違えじゃない？

メッキ 何が言いてえんだ？賢ぶってる奴は言い回しが気取ってんな。

ピンボケ 頭でっかちで状況が見えてなさ過ぎ。じゃあ他に考えがあるの？

メッキ ……。

ピンボケ いつもそうだ…文句言うだけなら黙ってるよ！

メッキ 俺だって適当に喋ってる訳じゃねえよ！

ワンイア 言い争ってる場合じゃないだろ。

ボロ 喧嘩してるの？

ベニサシ ボロの為に皆で話し合ってるのよ。心配しなくていいから。

オミトはけようとする。

ラグ 何処に行くのですか？

オミト ペグ爺はたぶん大丈夫だから。

オミトはける。短い暗転。明転。ペグ爺、オミト入ってくる。ボロの容態を確認するペグ爺。

ベニサシ どう？

ペグ爺 ワシにも分からん。

メッキ ざけんなよ…お前のせいで俺とこいつ（ピンボケ）は…。

ワンイア ダサいから止めときな。

ピンボケ 仲間が消える所、見た事あるんだよね？

オミト 何聞いてんの！？

ピンボケ その時、相手はどんな状態だった？

ラグ 来て頂いたのに失礼ですよ！

ペグ爺 質問の意図は分かっつとる。存在が消える前触れなのかを知りたいんだろ？

ベニサシ どういう事！？

ペグ爺 早とちりするな。こうなつた原因の確認でしかない。

ピンボケ どうなの？

ペグ爺 残念だが実際には見ておらん。

ピンボケ は？

ペグ爺 後ろを着いて来とると思つて振り返つたら既に消えておつた。効力が消えかけていたワシのテルテル坊主を黙つて自分の物とすり替えてな。

沈黙。

ペグ爺 何か分からん以上、最悪の事態を想定するべきだ。この場合、消えてしまふと考えて行動する…聞いているのか？  
ピンボケ え？

ペグ爺 ボサツとするな。こいつは向こうの世界で何だったんだ？

ラグ ボロさんは、ここに来る前の事を覚えてないんです。

ペグ爺 何だ？それは。

ラグ なので元々何だったのか、誰にも分かりません。

ペグ爺 些細な事でもいい。手掛かりなる様な事はないのか？

ワナイア 雨に晒された訳でもないし…。

オミト 一度で消えてしまう量じゃなくても、少しずつ白い雨に当って、蓄積するなんて事はない？だとすれば、蓄積され

た雨を取り除く方法が分かればボロを直せるんじゃない？。

ピンボケ 個体差があるにしても一番最後に来たボロが誰よりも先に悪化するなんておかしいよ。

ワナイア 確かにそうだけど間違ってるとも言いきれないだろ？

ピンボケ ちゃんとのを絞っていかないと手遅れになるかもしれない。

ラグ しかし、この段階で可能性を潰すのは早過ぎませんか？

ピンボケ 時間が無いかもしれないんだ！目先の希望で判断しないで！

メッキ じゃあ他に何かあんのか？

オミト ちよつと…。

ピンボケ 仕返しのつもり？

ラグ 止めてください！

メッキ いちいち周りにキレてんじゃねえ！辛れえのは皆同じなんだよ！

ペグ爺 同じじゃない。一番辛いのはこいつ（ボロ）だ。

ピンボケ …僕が助けるって約束したんだ。

ペグ爺 そんな事は知らん。早い者勝ちが目的なら余所でやれ。

ワナイア 別の言い方があるだろ。

ペグ爺 おかしな方向へ進んでおるのを注意したまでだ。

ボロ 私…どうなるの？

ペグ爺 余計な事を考えるな。

ボロ　でも…瞼が…勝手に…。

ベニサシ　しつかりして！

ワナイア　元気になったら耳触らせてやる。まだ頑張れるか？

ボロ　…頑張る。

ラグ　ピンボケさんの言う通り、残された時間は僅かなのかもしれませんが、でも情報が無さ過ぎて何をどうすればいいのか…。

オミト　何とかするしかねえだろ。

ペグ爺　北の丘へ向かおう。

メッキ　え？

ペグ爺　消えてしまうくらいなら人間達の世界で生まれ変わる方がいい。

オミト　それだと僕達とボロは…。

ペグ爺　離れ別れになるな。

ラグ　生まれ変わる何かがあるとは限らないですよ？

ワナイア　っていうか、何かって言うてる地点で信憑性はかなり低いでしょ。

ペグ爺　頂上に近づくにつれて聞こえてきたんだ。向こうの世界にいた頃の音が…人間達の会話や日常の生活音がな。

メッキ　マジかよ…。

ペグ爺　テルテル坊主が足りず、頂上までは行っておらんから物が何かは分からん。だが行く価値はある。

ピンボケ　辿り着くまでのテルテル坊主は？

ペグ爺　私用のついでに拾った物がワシの所はかなり貯まっておる。

ピンボケ　なるほど。

オミト　待って！

ペグ爺 何だ？

オミト 僕は…ボロに会えなくなるのは嫌だ！

ペグ爺 駄々を捏ねている場合か？

オミト 分かってる！でも…。

ワンイア ギャンブルするにはまだ分が悪いだろ。

ラグ 私もそう思います。

ワンイア それこそ、さっき言ってた目先の希望ってやつだ。

ピンボケ でも僕は行くべきだと思う。

ワンイア あんたの言葉だよ？

ピンボケ 分かってる。でも試す価値のある情報がある。

ワンイア まだ曖昧な部分が多過ぎるろ。

ピンボケ 全てが曖昧だった最初よりはだいぶマシだ。

ワンイア はあ？

ピンボケ 僕は希望にすがってなんかない。可能性を感じたんだ。

ワンイア 可能性の話なら最初からしてた。

ピンボケ 根拠があるかないかだよ。人間の世界の音が聞こえた事は無視できない。

ワンイア そうだけど…。

ピンボケ オミトの気持ちも分かる。でもそれでボロが助からなかったら会えなくなる以上の辛さを背負う事になるんだ。

オミト ……。

メッキ まあ準備も出来てるみたいだしな。

ラグ いいんですか？

メッキ やれる事はつきりしてて、すぐ行動に移せんのはデケエだろ。  
ラグ でも…。

メッキ 納得出来ねえだろうけど、いざとなったら俺の責任って事でいいから。  
ワナイア そういう問題じゃない！  
メッキ だからもう理屈じゃねえんだ！

間。

メッキ 頼む。

ラグ …分かりました。

オミト ボロの為だもんね…。

ピンボケ うん。

オミト 我儘言ってごめん。僕もボロを助けない！

メッキ お前は？

ワナイア …間違ってたなら許さないから。

ペグ爺 決まりだな。では誰が北の丘に連れて行くかを決めよう。

メッキ 全員で行くんじゃねえのか？

ペグ爺 テルテル坊主がかなりあると言っても全員を連れて行ける量ではない。

ワナイア ただ待ってるだけなんて出来きるか！

ペグ爺 感情論を持ち出してる場合じゃないんだ。

オミト だったら僕らの予備を使えばいい！ペグ爺のは自分とボロで使ってよ。(皆に) いいよね？



ペグ爺 その分も少数に回した方が成功率は上がるんだぞ？

ラグ いざとなったら私の物も差し上げます！

ペグ爺 帰りの分も考えているのか？

ピンボケ 僕は無くてもいい。

皆、無言で訴えかける。

ペグ爺 好きにしろ。

ワナイア ベニサシ？

ベニサシ 聞こえてたわ。

ピンボケ (メッキに) 絶対にボロを助けよう。

メッキ おう。

M10 暗転。その後、位置を変えながら暗転とスポットを交互に入れ替え、北の丘へ向かう様子。明転。頂上に到着した様子。その後は暗転と明転を繰り返し、「何か」を搜索している様子で時間経過。最後はかなりゆっくり明転。(SE・人間世界の音)ボロ、メッキ、ラグ、ペグ爺板付き。煮詰まっている様子。

メッキ 本当にここでいいのか？

ペグ爺 そのはずだ。

メッキ 向こうから聞こえてくる音が違うとか言ってたよな？

ペグ爺 だがこれ以上は登れないだろ。

ピンボケ、オミト、ワナイア、ベニサシ入ってくる。

ピンボケ 見つかった？

ラグ 何も見当たりません。

メツキ そっちもか？

ピンボケ …うん。

ワナイア 皆、テルテル坊主は？

ベニサシ 少しは余裕があると思う…多分。

オミト 帰りの事も考えると微妙かな…。

ワナイア やっぱり人間の世界に行ける物なんて無いんじゃない？

ピンボケ 向こうの音が聞こえてきたのは本当だったんだ。無関係って事はない。

ワナイア でも見渡す限りゴミ一つないんだよ？

メツキ 地面に埋まってるかもって話になったじゃねえか。

ラグ ですが、このまま探して間に合うのでしょうか？位置はおろか、どの位の深さにあるかも分からないのに…。

オミト 根本的な所から考え直すべきなのかも…。

ペグ爺 考えた所で答えは出るとは思えん。

ベニサシ じゃあどうすればいいの？

ピンボケ ここまで来たらやりきるしかない。

ワナイア 結局根性かよ。

メツキ お前なあ…。

ピンボケ いいんだ。言う通りだから。

ボロ 皆。

ベニサシ どうしたの？

ボロ 私、このまま死んじゃうの？

メッキ んな訳ねえだろ。

ボロ だって何も見つからないんでしょ？

ピンボケ 不安にさせちゃったね。

オミト 大丈夫って言っても信じられないだろうけど絶対に何とかするから。

ボロ …もういいよ。

ラグ 諦めてはいけません！

ボロ 皆、困ってる。

ラグ 確かに少し弱音を吐いてしまいましたが、それはボロさんを本当に助けたいから出てしまった言葉なんです。

ベニサシ 誰も迷惑だなんて思ってないわ。

ボロ でも、もう体が全然動かないの。

メッキ 待ってる！すぐに見つけてやるから！

ペグ爺 ウダウダ言っても埒が空かん。とにかく全員で探すぞ。

ボロ 待って。

ペグ爺 まだ何かあるのか？

ボロ 一人にしないで。

オミト ちゃんと皆いるよ？

ボロ 違う…もっと側にいて。

ベニサシ　ボロの為なの。もう少しだけ我慢して。

ボロ　嫌だ…怖いよ…側に誰もいないと凄く怖い…お願いだから何処にも行かないで。  
ラグ　しかし…。

ボロ　お願い。

メツキ　気持ちは分かるんだけどよ…。

ワナイア　…分かった。

メツキ　おい。

ピンボケ　まだ猶予がある内は…。

ワナイア　断れる訳ないだろ。

ピンボケ　そうかもしれないけど…。

ワナイア　誰のせいだと思ってるんだ！薄々勘付いてんだろ？自分が間違えてたって！

沈黙。

ボロ　ごめんなさい。私が我儘言ったから…。

ベニサシ　ボロは悪くない…もう離れたりしないからね。

ラグ　放っておいたつもりは無かったです。

ボロ　分かってる。

オミト　何とかするって言ったのに…ごめん。

ボロ　一生懸命助けてくれようとした。

オミト　…ごめんね。

ボロ 謝らないで。傍にいてって言ったのは私だもん。

ピンボケ ボロがコレクションを見せてくれるって言うから、僕の写真も沢山加えて貰おうと思ってたのに。

ボロ 写真の事、もっと早くに聞いてれば良かった。

メッキ 後でお前のコレクションに加えてやるよ。

ボロ 嬉しい：ワナイアア！

ワナイア (ボロを見る)

ボロ しゃがんで。

ワナイアアがしゃがむも手を動かさないボロ。ワナイアアが手を取って耳を触らせる。

ボロ 皆、ありがとう。

ペグ爺 くだらん。

ワナイア あ？

ペグ爺 くだらんと云ったんだ。

ワナイア 二度目を言えた事だけは褒めてやるよクソジジイ！

ペグ爺 相手の気持ちを汲んでやるのも結構だが、この後に及んで情に流されるとは：ワシはつまらん芝居でも観せられて  
いるのか？

メッキ その辺にしとけ。

ペグ爺 (ボロに) ここに来るまでどれだけ手間が掛かったと思ってる？ 貴様が諦めたら全て無駄になるんだぞ。ワシら  
に申し訳ないと思わんのか？

ワンイアー、ペグ爺に詰め寄ろうとする。

ピンボケ (ワンイアーを押さえて) ボロが見てる。

ペグ爺 消えてしまったアイツと同じだな。一方的にこちらを助けて、そのままやり逃げだ。やっと長年の気分の悪さから解放されると思っておったのに。

オミト 何それ…ボロを使って自分の過去を慰めようって事？

ベニサシ 本当に憐れね。

ペグ爺 貴様らは滑稽だな。

ラグ 何処まで自分本位なんですか!?

ペグ爺 お涙頂戴でこのまま消えるのを待つのと、自分本位で諦めない事。どちらが最善か考えるまでもないだろう!!

沈黙。

ペグ爺 貴様は消えてしまいたいのか、消えたくないのかどっちだ？

ベニサシ 追い詰めないで。

ペグ爺 答えろっ!

ボロ ……。

ペグ爺 何も言わんのなら、そのまま大人しくしてろ。

オミト (ボロに) 大丈夫？

ボロ 私は…。

ペグ爺 何だ?聞こえんぞ。

ボロ ……ない。

ペグ爺 何だって？

ボロ ……たくない。

ペグ爺 はっきり喋れ！

ボロ 私は…死にたくない。

SE 赤ん坊の泣き声。FO。ワナイアールとベニサシが反応している様子。

ペグ爺 最初からそう言え。

ピンボケ 未練があるのに何もさせてくれないのは確かに辛いかな。

メッキ この際だ、今ある未練を全部言っちゃまえ。何かやり残してる事あるか？

ボロ ……ピンボケの写真を全部見たい。メッキにコレクションの自慢もしたい。

M11 SE（赤ん坊の泣き声）FO。

メッキ そうだな。俺だって楽しみにしてんだからよ。

ワナイアール ねえ…何か泣き声みたいな聞こえない？

オミト 泣き声？

ベニサシ 私にも聞こえた。

ボロ オミトともっと宝探しに行きたい…ラグと大声で時間を伝えて回りたい。

SE 赤ん坊の泣き声。FO。

ラグ 聞こえました！赤ん坊の泣き声ですよ！

メッキ 向こうの音の一部じゃないのか？

ピンボケ にはしては、他の音より近くで聞こえたような…。

ボロ ベニサシともっと沢山お話したい…ワナイアアの耳もっと触りたい。

SE 赤ん坊の泣き声。FO。

オミト ボロが喋った後に聞こえてこない？

ボロ ペグ爺の楽譜の音楽も一度でいいから聞いてみたい。

SE (赤ん坊の泣き声) FO。

ピンボケ もしかして…。

ボロに視線をやる一同。

ペグ爺 こいつに話かけろ！

メッキ は？

ペグ爺 こいつに消えたくない…まだ死にたくないと思わせるんだ！



ワナイア まだ状況が整理出来てない。

ペグ爺 いいから早くしろ！

ピンボケ ボロ！大きな声で叫んで！

オミト ピンボケ？

ピンボケ 大体で分かるだろ？周りの人間にボロの存在を気付かせるんだよ！

戸惑いながらも、事態を把握する一同。

ペグ爺 貴様が助かる方法が分かったぞ！

ボロ 本当？

ピンボケ ここに来てしまった事は、とても悲しい事だけど…それに負けないで！

ベニサシ あなたはまだこれからの！だからもう帰らなきゃいけないのよ！

ボロ 帰らなきゃ？

メッキ そうだ！お前のいるべき所は人間の世界なんだ！

ボロ いるべき所…。

ラグ ボロさんはまだ生きています。

ボロ 生きてる…。

オミト 遠くに聞こえる様に大きな声で叫んで！

ワナイア 誰か助けを呼ぶんだよ！

ボロ 助けを…。(顔を歪める)

ワナイア どうした？

ボロ　でも、いくら呼んでも誰も来てくれない。  
ワナイア　え？

ボロ　誰も助けてくれない。

ベニサシ　何を言ってるの？

ボロ　私は今何処にいるの？

オミト　向こうと意識が繋がってる？

ラグ　どうして今になって？

ボロ　真っ暗で何も見えない。

メッキ　皆傍にいるぞ！

ボロ　お母さんは？

沈黙。

ボロ　いつもお母さんは私の傍にいてくれるのに全然来てくれない…私は捨てられたの？

ピンボケ　それ以上考えるな！

ボロ　私の事、嫌いになっちゃった？

ベニサシ　今はたまたまいないだけよ！

ボロ　私はいらない子なの？

ペグ爺　よせ！

ボロ　そんな私があつちに戻ってもいいのかな？

ラグ　何を迷ってるんですか？何事も一直線なのを取り柄でしょう？

ボロ 一人ぼっちになりたくない。ここなら皆と一緒にいてくれる。

メツキ 一生の内に二度も捨てられるなんて早々ねえよ！向こうに行けば誰かが一緒にいてくれるって！  
ワナイア 普段通りにしてれば、あんたはきつと誰かの何かになれる！

ボロ ここにいれば、沢山楽しい事がある。

ベニサシ あなたが生きる世界で新しいのを見つけなさい。

ボロ 見つかるかな？

オミト ボロの世界は此処にはない珍しい物が沢山ある世界なんだよ？

ボロ でも私は…皆と一緒にいたい。

沈黙。

ボロ 皆と一緒に来てくれないの？

ピンボケ それは…できない。

ボロ どうして？

ピンボケ 皆で行く方法は探せばあるのかもしれない。でももう時間がない。

ボロ 一緒に来てよ。

ピンボケ 仕方がない事なんだ。

ボロ 見つかるまで待ってるからお願い。

ピンボケ それだとボロがもたない。

ボロ 大丈夫だから。

ピンボケ 無理なものは無理なんだよ。

ボロ どうしても駄目なの？

ピンボケ …ごめん。

ボロ だったら私は…。

ワナイア 会えなくなるのは…。

メツキ 何だ？

ワナイア 会えなくなるのは…ギリギリセーフ。

ボロ セーフ？

ワナイア 会えなくても一緒にいた記憶は残ってる。

オミト そうだよ！思い出や絆は、大切にしていれば絶対に無くす事はないから！

メツキ って事は、後は距離だけの問題だ。考えようによっちゃあ、それって大した事なくないか？

ボロ そう…かな？

オミト 些細な事だって！

ボロ もしかすると忘れちゃうかもしれない。

メツキ んな悲しい事言うなよ。

ベニサシ 私達は絶対に忘れない。だからボロも忘れないで。

ラグ 私は毎時間、ボロさんが幸せであるよう祈りますからね！

メツキ それなら絶対忘れねえ。ちゃんと時間教えろよ。

ラグ もちろんです。

ボロ でもやっぱり、皆に会えなくなるのは寂しい。

ピンボケ このままだと死んじゃうんだよ？そしたら寂しいと感じる事すらできないし、楽しい事だって何も無いんだ。  
ボロ それは…嫌だ。

peg 貴様に生きてほしいと願うのは此処にいる全員の我儘かもしれん。だが大切な物は拾わなければいかんのだろ？貴様が言った事だ。文句は言わせん。

bor 。。。。。

peg 本当にこのままでいいのか？

bor 私は…分からない。

peg 一度拾えなかった事を、ワシはずっと背負って行くんだろうと思っていた…そんなワシを貴様は救ってくれた。大切な物を失う苦しみを、貴様はまた味わえというのか？

bor そんなつもりじゃ…。

peg 分かっている。だが二度目はもうコリゴリだ…だから生きてくれ、bor。

bor 私は…。

peg その先を言え。

bor 私は…。

peg 言ってくれ。

bor 私は…生きたい。

peg もっと強く願うんだ！

bor 私は、生きていたいっ！！

SE 暗転。赤ん坊の泣き声。

(録音)

「こっちです！このコインロッカーから赤ん坊の泣き声が！」  
「ほらどいて、道空けて！」

「すみません！通してください！すぐに開けますので！」

M12

ロッカーの開く音。泣き声が強くなりFO。カーテンコール。

終幕